

授業科目名	医学概論	単位数	2単位
担当教員名	吉田 保男	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	医師である教員が経験と専門的知見をもって学修指導を行う。		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) 医学の歴史の概要を学び、特に20世紀後半以降急速に発達した診断技術と治療法の変遷を理解する。 (2) 人体の構造(解剖学)と機能(生理学)の概要を理解する。 (3) 現代社会の代表的な疾病、生活習慣病、感染症、高齢者の疾病その他についての理解を深める。 (4) 高齢社会に伴いなんらかの障害を有する人々は増加するが、福祉とも特に関連の深いリハビリテーションの概要について理解する。 (5) 公衆衛生の現状と保健医療対策の概要を理解する。 (6) 医療保険制度を中心とした医療システムと、医師患者関係のあり方について考察する。 (7) 多くの職種にわたる医療従事者と医療施設について理解する。			
授業の概要			
社会福祉関係の仕事に要求される医学の知識を得るために、まず、基本を医学一般で学ぶ。人体の構造、代表的な疾病、公衆衛生、保健や医療のサービスなどに係わる知識を習得するよう努めていただきたい。 医療関係の法令や医療関係の職種などに関する知識も、連携を取るには必須である。しかし、医学一般で学んだことは、社会福祉関係の仕事に就かなくても、生きてゆくためにきっと役立つことでしょう。			
授業計画			
第1回：近代医学の歴史 第2回：近代医学の発展 第3回：人体の構造と機能 第4回：現代社会の疾病(生活習慣病、感染症) 第5回：現代社会の疾病(高齢者の疾病、神経疾患) 第6回：現代社会の疾病(精神疾患・精神保健、難病) 第7回：リハビリテーションの概要 第8回：公衆衛生の現状(人口動態) 第9回：公衆衛生の現状(保健所と市町村保健センターの活動) 第10回：保健医療対策(国民健康づくり対策) 第11回：保健医療対策(メタボリックシンドローム対策) 第12回：医療提供体制の現状 第13回：高齢化社会への対策 第14回：医師と患者のヒューマンリレーション 第15回：まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
『社会福祉学習双書』編集委員会編(2024)『社会福祉学習双書第14巻 医学概論／保健医療と福祉』全国社会福祉協議会、9784793514555			
参考書・参考資料等			
(1) 小橋 元・近藤 克則・黒田 研二・千代 豪昭(2020)『学生のための医療概論 第4版』医学書院、978-4-260-04125-6 (2) 坂井 建雄・岡田 隆夫・宇賀 貴紀(2022)『系統看護学講座-専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版』医学書院、978-4-260-04687-9 (3) 砂原 茂一(1980)『リハビリテーション』岩波新書、9784004201397			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			